

自然教室千一ムだよ

帯解小 校庭の自然観察会 実施報告

6月3日、雨が降るのか降らないのか微妙な天気でしたが、大事をとって体育館で実施しました。

今年から旧精華小学校と合併したため、参加児童もそれまでの30名台から約50名へと増え、賑やかになりました。私たちスタッフも6名に増やして準備を進めました。

「校庭の草木と仲良くなろう」をテーマに、*アベリア(どんな花と実かな)、*タンポポ(不思議な花だよ)、*コバンソウ(お金持ちになれるかな)、*カラスノエンドウ(笛を鳴らそう)、*クロガネモチ(お手紙書こう)の5つのポイントを観察しました。

できるだけ自然遊びを取り入れようと、タンポポ、カラスノ



エンドウ、クロガネモチの3つの笛、葉っぱの字書き、アベリアの実を模したヘリコプターをしました。盛りだくさんの遊びで、子どもたちに楽しんでもらいました。



自然工作はクマのペンダントです。ちょっと時間が少なく気ぜわしかったのですが、それでも一生懸命に作っていました。

放課後教室担当の方々には5つの班にそれぞれ2名ずつついてサポートをしていただき、とても助かりました。学校ではなかなかできないことを、よく準備して実地に体験させてもらい、大変有難いとの感想を語っておられました。

私たちもいろいろ失敗をしながら、児童と一緒に楽しく自然観察をしました。

(倉田 晃)

育英小 校庭の自然観察会 実施報告

6月6日(土)前日の雨も朝には上がって予定通りの実施となりました。スタッフは7名、1・2年生に分かれての実施です。

1・2年生とも、テーマを「校庭の草木となかよくしよう」とし、自然あそびをできるだけたくさん取り入れた内容を心がけました。

1年生は、アオキ(字が書ける葉っぱ)クスノキ・ドクダミ・ミカンの匂いを比べる(どの匂い好き?)、タンポポ(花いくつ)ヤツデ(葉の形イロイロ)カタバミ(魔法の葉っぱって本当?)を取り上げました。タンポポ笛を鳴らして喜び、10円玉をピッカピカに磨いて、カタバミの魔法?の力に驚いたようでした。形の違う葉を探す真剣な姿も見られました。



2年生は、アラカシ(これ、ドングリの赤ちゃん?)、カエデ(ヘリコプターとばせるかな?)クロガネモチ(葉っぱで遊ぼう)草いくつ(仲良く生きる姿)ネイチャー

ゲーム(不思議な散歩)をしました。鏡を使って歩く散歩に「こわーい」「空を歩いているみたい」の音が飛び交いました。教室で押し葉・押し花を使って、世界に1つだけのしおりに作りました。

校長先生も最後まで参観をして下さり、「子どもたちが大変喜んでいました。」と言って下さいました。

1・2年生の児童を掌握する難しさを感じつつ、素直に喜ぶ子供たちの姿に安堵した観察会でした。

1・2年生の児童を掌握する難しさを感じつつ、素直に喜ぶ子供たちの姿に安堵した観察会でした。

1・2年生の児童を掌握する難しさを感じつつ、素直に喜ぶ子供たちの姿に安堵した観察会でした。

(平岡 久美)

